

学芸学部メディア創造学科 第Ⅱ項 第二次審査実施における注意事項

メディア創造学科第Ⅱ項の第二次審査＜個人面接（約30分間）＞は、自己アピールできる活動分野に関するプレゼンテーション（約10分間）を含みます。

- プレゼンテーションの内容・手法は、受験者各自で考えてください。
- 面接（プレゼンテーションを含む）は、受験者1名に対して審査員3名で行います。
- 各自の面接の前に、プレゼンテーションの準備のための時間を15分間設けます。事前準備が必要な場合は、その間に各自で行ってください。なお、各自で準備（持参）した機器等のトラブルや不具合による審査（面接）時刻の変更はできません。
- プレゼンテーションに使用できるものは、次の通りです。

受験者に対し本学で準備するもの（予め面接室に準備します）

A. 第一次審査の際の提出資料

- ・入賞、入選等のすぐれた実績を得たオリジナル作品（提出のあったもののみ）

B. 音声再生機器

- ・CDプレーヤー

※CD（CD-RW、CD-R）をパソコン等で作成した場合、作成した機器以外では再生できない場合があります。
各自で事前に確認した再生可能な機材を持参することをお奨めします。

C. 映像再生機器（プロジェクター）

- ・ブルーレイディスクプレーヤー（BD-RE、BD-R）
- ・DVDディスクプレーヤー（DVD-RW、DVD-R）

※個人で作成したブルーレイ・DVD等は作成した機器以外では再生できない場合があります。各自で事前に確認した再生可能な機材（ポータブルプレーヤー、パソコン等）を持参することをお奨めします。

※本学で用意するプロジェクター接続用ケーブルのコネクタ形状は、HDMI（※ミニ、マイクロ等は不可）およびD-Sub 15ピン（ミニ）オスのみです。また、音声についてはステレオミニプラグとなります。

D. その他

- ・ホワイトボード、マーカー、イレーザー、マグネット
- ・机、延長コード

受験者が各自で準備（持参）するもの

任意につき、必要のない場合は準備（持参）する必要はありません

1. ノートパソコン、タブレットPC、画面付ポータブルプレーヤーなど情報機器
2. 上記Aに関する追加資料
3. その他、各自で必要とするもの

その他の注意事項

- ・プレゼンテーションの準備は各自で行ってください。準備のための補助者は付きません。
- ・受験者が各自で準備するもの（任意）は、面接当日持参してください。事前送付は認めません。
- ・面接当日に持参した機材および資料は、面接終了後持ち帰ってください。ただし、第一次審査の際の提出書類は持ち帰れません。

〈この件に関するお問い合わせは電話でお願いいたします〉

同志社女子大学 アドミッションズオフィス

TEL 0774-65-8469

平日（月～金）9:00～11:30、12:30～17:00